

100BASE-T1 メディア・コンバータ NXP



概要

100BASE-T1メディア・コンバータ NXPは、100BASE-T1を使用する車載ECUとRJ-45コネクタを搭載した標準のファストイーサネットデバイス間で、直接ポイントツーポイントの変換を確立します。

また、NXP TJA1100_MRA4 Phyが搭載されているため、パケットの保存・変更はされません。

特徴

- ✓ IEEE 100BASE-T1 (100 Mbps全二重、アンシールドド・ツイストペア) からファストイーサネット100BASE-TXへの変換
- ✓ マスター/スレーブ コンフィグレーション(DIPスイッチ)
電源: 12VDC (8 ~ 16 VDC)
- ✓ 消費電力: 2 Watt
- ✓ 頑丈なスチールケース
- ✓ Status LEDランプ
- ✓ 自動車用MQSコネクタ (100BASE-T1電源)
- ✓ スタンダードイーサネットRJ45 コネクタ対応
- ✓ サイズ: 92 x 63 x 28 mm



車載イーサネットとPCシステム間の物理層変換を実現



キットに含まれるもの

<p>100BASE-T1 メディア・コンバータ NXP</p>	<p>バナナソケット 赤/黒 バナナピン x2</p>	<p>MQSカバープラグ MQSソケット</p>	<p>圧着端子 x8</p>	<p>イーサネットケーブル</p>
				
				
<p>電源用ツイストペアケーブル (赤/黒、片側端子付き)</p>				<p>100BASE-T1ケーブル (両側端子付き)</p>

ANDiについて

100Base-T1および1000Base-T1を搭載したシステムのテスト、シミュレーションソフトウェアです。

ANDi (Automotive Network Diagnoser) は、100Base-T1および1000Base-T1、CAN/CAN-FDを搭載したECUのテスト、およびシミュレーションソフトウェアです。

トラフィックのログおよび解析、イーサネットやCANの送受信、バス・シミュレーション (RBS) などの機能をもっています。全てのイーサネット・プロトコル、およびSOME/IP、SOME/IP-SD (サービス・ディスカバリー) に対応し、Pythonスクリプトにより柔軟な処理が可能です。

その他、トラフィック・ビューアー、トラフィック・ジェネレータ、バースト送信、Pcapレコーダー、PcapファイルのIP/MAC変換などのツールも用意されています。

